

# 令和5年度 自己評価結果公表シート

あかし幼稚園

## 1、評価項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
1. 保育者の計画性について	<ul style="list-style-type: none"><li>・4大イベントは、行事当日から様々な課題を逆算し、かみ砕いて日々の保育に落とし入れて進める為、余裕を持って行うことが出来た。子ども達にも無理がない。</li><li>・縦割り保育だけでなく、普段から全クラスの関わりがあり、他の先生の保育や声掛けを見る機会もあり、学びになっている。</li><li>・掃除や日々清潔な環境の維持が、補助の先生のお蔭できちんと行われている。</li><li>・毎学期末に行う反省会にて周りの先生からアドバイスをもらえる。</li></ul>
2. 保育の在り方、幼児への対応	<ul style="list-style-type: none"><li>・いろんな表しの子どもがいるが、ありのままの姿を受け入れている。</li><li>・門やクラスの入り口での挨拶から、一人ひとりの存在を意識している。</li><li>・保育者同士がよく話しており、大切な事を共有・共感している。</li><li>・体調不良の子どもの情報を共有し、クラスを超えて対応している。</li><li>・穏やかな保育を行っている。</li><li>・みんなで全ての子ども達の気になる姿は正したり、話し合ったりしている。</li></ul>
3. 保育者としての資質や能力・良識・適性	<ul style="list-style-type: none"><li>・誰か一人だけに仕事が偏ることなく、それぞれが責任持って平等に仕事をしている。</li><li>・働きやすい職場なので、自分の情緒を安定させて働くことが出来ている。</li><li>・ピアノや絵本、保育等の研修を受けて、資質の向上に努めた。</li><li>・誰かが休んでもすぐにフォローできる体制がある。</li><li>・クラスの垣根を越えて保護者への声掛けを行っている。</li><li>・自分では出来ない面を他の職員が自然にカバーしてくれている。</li></ul>
4. 保護者への対応・守秘義務	<ul style="list-style-type: none"><li>・保護者の話は親身になって傾聴している。</li><li>・保護者には平等、公平に接するよう努めている。</li><li>・トラブルが起こった時はなるべく早く保護者に伝えるように心がけたが、それ以外でも日々の様子を伝えるように気を付けた。</li><li>・クレーム対応の際は周りの職員にアドバイスをもらって、的確に真摯に返答するよう気を付けた。</li><li>・守秘義務を徹底し、保護者から言われた事は全職員で共有している。</li></ul>
5. 地域の自然や社会との関り	<ul style="list-style-type: none"><li>・近隣の方々との挨拶は欠かさないように心がけている。</li><li>・実習生は可能な限り受け入れ、様々な養成校の先生方との情報交換に努めている。</li><li>・卒園生が気軽に足を運べる環境作り。</li><li>・秋の果物配りでは、お世話になっている方々へ家庭から持ち寄った果物持参で感謝の気持ちを伝えられた。</li><li>・芋の苗植え、芋ほりで地域の方々と交流した。</li><li>・保幼小連絡会への出席。</li><li>・兄弟児（小学生）の預かり受け入れ。</li></ul>

6. 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修を学期末に行い、それぞれの保育の振り返りを次に生かしている。</li> <li>・学びとなる本の読みあいや、園外研修に出かけ、新たな知識をインプットしている。</li> <li>・職員同士が良く理解し合い、情報交換をしている。</li> <li>・公開保育にも機会があれば参加したいと意欲を持っている。</li> <li>・園庭遊具の安全な使い方を皆で徹底している。</li> <li>・毎月のピアノレッスン参加。</li> </ul>
7. 保育の在り方、3歳未満児への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忍耐強く接している。</li> <li>・安全第一、命最優先で見守っている。</li> <li>・その子が落ち着くためのおもちゃ等を準備して、情緒の安定を促した。</li> <li>・お昼寝、トイレトレーニングを家庭と連携しながら行った。</li> <li>・一人ひとりの個性に合わせての対応を心掛けた。</li> </ul>
8. 地域における子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭開放への参加者や来園者には優しく声をかけ、挨拶するように努めた。手厚く対応している。</li> <li>・在園児も小さいお友達に優しく接するよう促した。</li> <li>・電話での問い合わせに丁寧に対応している。</li> </ul>

## 2、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

### 【2023年度 教育目標】

愛と信頼 感謝と希望の生活 ともにつむぎだす～希望の中で～

#### 今年度の指導の重点

- ・ありのままの子どもを受け止め、関わりの中に見えてくる子どもの気持ちの理解に努めながら個々の成長を助けていく。
- ・家庭との連絡を密にとり、嬉しい事だけでなく、痛みや苦しみも分かち合いながら共に子どもを育てていく。
- ・子ども達に還元できるよう、自らの保育力の向上に努め、一人ひとりを大切に育てる教職員の育成を図る。

#### 【総合的な評価】

- ・毎日の保育も大きな行事も、計画的に行うことで子どもも職員も無理なく進めることが出来それが子ども達の育ちにも繋がっている。  
また、全園児を全職員で見るという意識が常にあることで、多面的に子どもを捉え、お互いにアドバイスしたり助けあったりして、深い子ども理解に結び付いたと思われる。
- ・各家庭と公平に関わることを心がけながら、保護者の不安や子どもの育ちを一緒に考えたり共有するよう努めた。それでも車での送迎の保護者との会話が思うようにできなかつたり、もっと分かち合いが必要な場面もあったと反省させられる。
- ・職員間で学びの時間もとってきたが、十分とは言えなかった。子ども理解への勉強を、技術面・精神面共に向上できるよう、努力していきたい。

### 3、これから改善したいこと

評価項目	具体的な取組状況
1. 保育者の計画性について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内おもちゃの使い方、ルールをしっかり分かった上で、季節や育ちも配慮して配置する。</li> <li>・大きな行事へ全ての子どもが無理なく参加できるやり方を考えていく。</li> </ul>
2. 保育の在り方、幼児への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間に余裕を持てるように気を付ける。</li> <li>・スキンシップや温かい言葉かけを意識する。</li> <li>・個別対応の子どもへの配慮を周りとともに良く考える。</li> </ul>
3. 保育者としての資質や能力・良識・適性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから学ぶことや保護者からの気づきを真摯に受け止める。</li> <li>・やるべき事を後回しにしないように気を付ける。</li> <li>・専門知識や技能を時代に合わせて身に付けられるよう努力する。</li> </ul>
4. 保護者への対応・守秘義務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚だけで物を言うのではなく、きちんとした教育的意義も伝えられるようになる。</li> <li>・傾聴することを第一に保護者との信頼関係を築くことを大切にする。</li> <li>・大人が子どものモデルであることを忘れない。</li> <li>・車送迎の保護者とも連絡を密にとっていく。</li> <li>・言葉遣いに気を付ける。</li> <li>・全ての保護者と公平に接する。</li> </ul>
5. 地域の自然や社会との関り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校との交流の機会があったらと願っている。</li> <li>・老人ホームとの交流の場を設ける。</li> <li>・園内の植物観察を積極的に行う。</li> <li>・実習生の気持ちをより理解するように努める。</li> </ul>
6. 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し積極的に研修に出かける。</li> <li>・研修で身に付けたことを実行する。</li> <li>・園外に行く場合の危機管理意識を高める。</li> </ul>
7. 保育の在り方、3歳未満児への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後2歳児クラスを創設する場合にこれまでの反省を生かしていく。</li> <li>・手を出しすぎていたのでもっと自分で出来る事は自立を促していく。</li> </ul>
8. 地域における子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひよこ組を充実させる。</li> <li>・おむつ定期便や園庭開放について、未就園児向けにホームページで知らせる。</li> <li>・配慮が必要な子どもへの職員の危険察知能力を高める。</li> </ul>

### 4、学校関係者の評価

- ・大きな不満や心配ごとはなく、保護者は概ね現在の園に満足していると思う。
- ・小さな園であるからこそ、の良さを生かし、無理に効率を求めたり ICT 化しなくてもよいと思う。
- ・卒園してもいつまでも懐かしい場所。運動会で「卒園児競技」が復活したことはとても喜ばしい。
- ・新しく「秋まつり」が行われたのもよかった。園に関わりを持ちたい保護者には良い機会だったのでは。いろんな考えの人がいるので、どんな意見も尊重すべきだと思う。
- ・未就園児の保護者は園の特色を見て入園するので、自信を持ってハッキリ打ち出してよい。
- ・これからも変わらずに温かい保育を続けてほしい。

\*2023 年度学校評価委員（4 名 敬称略）

佐々木英治（あかし幼稚園理事）

水田友香（あかし幼稚園理事）

畑中真生（元あかし幼稚園母の会会長）

中島まり恵（元あかし幼稚園役員）